

2015年8月17日

世界の子ども日本語ネットワーク推進事業 第7回「海外児童日本体験プログラム」 海外参加校 決定

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、第7回「海外児童日本体験プログラム」に参加する海外校の決定について、本日、発表しましたのでお知らせいたします。

- ▶ 有識者で構成された審査会において、厳正なる審査の結果、世界10の国・地域より11校が本プログラムの参加校として選出されました(※別紙参照)

■ 当事業の目的

この事業は、日本語を大切にしながら異文化体験や国際交流を通じて、日本の生徒と海外の生徒がお互いの理解を深め、国際人として成長する機会を提供することを目的としています。

■ プログラム概要

「海外児童日本体験プログラム」は、(日本の中学校に相当する)海外の中等教育機関で日本語を学ぶ児童・生徒を日本に招待し、日本校への訪問や同世代の生徒との交流、文化・社会体験などを通して、日本のことばや文化への理解・関心を深めるものです。

■ 助成内容

日本までの往復航空運賃、日本滞在中の宿泊費・食費・活動費(研修費、交通費を含む)

■ スケジュール

実施:2016年4月14日~27日(予定)

※このプログラムに参加する海外校生徒を引率する日本語教師を対象とした事前研修を2015年11月15日~12月4日に実施予定

この事業は、国際交流基金、国際日本語普及協会、呉鳳科技大学、スリランカ日本語教師会、土日基金文化センター、モンゴル・日本人材開発センター、ルーマニア日本語教師会などの協力によって実施されています。

博報財団(正式名称:公益財団法人 博報児童教育振興会)は、1970年に設立された財団法人博報児童教育振興会を母体として公益認定され、2011年4月に公益財団法人としてスタートしました。
次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成事業」「国際日本研究フェロシップ」「世界の子ども日本語ネットワーク推進事業」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる活動を行なっています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/> ◇

■ 本件に関するお問い合わせ先:

世界の子ども日本語ネットワーク推進 事業 (担当:内海・福本・横山)
TEL: 03-5570-5008 / FAX: 03-5570-5016
E-mail: office@hgnet.jp

第7回「海外児童日本体験プログラム」 海外参加校一覧

所在地	学校	引率する日本語教師
イギリス	セント バーナーズ カソリック グラマー スクール	クレア アリス <u>エヴァンズ</u>
インド	サルワン パブリック スクール	アシマ <u>チョーダリ</u>
インドネシア	ボジョネゴロ第2 国立中学校	シティ ムカロマ
オーストラリア	イートン コミュニティ カレッジ	クリスティー ミシェル <u>ジェーケル</u>
スリランカ	ファーガソン高等学校	<u>ヒッゴダ</u> <u>ガマゲー</u> ドウルシカー ディルルクシ
タイ	ダムロンラットソクロン学校	ノンヤオ <u>ニアムサン</u>
ブラジル	スザノ日伯学園	ジェニー クミ <u>ヨシザワ</u> <u>アンラク</u>
マレーシア	ケパラ バタス 理科中等学校	<u>ウイ</u> グアン リー
マレーシア	サバク ベルナム インテグラシ全寮制中等学校	ハニ シャルリザ ビンティ モハマッド イサ
モンゴル	ウブルハンガイ県メルゲド学校	<u>ドヨドルジ</u> ドラムスレン
ロシア	国立学校1471番	<u>コースチコヴァ</u> アンナ